

宮の森



発行元・白鳥神社総代会

令和御大典・玉垣 完成

百二十六代天皇即位、ご大典記念事業として、玉垣の設置を総代が発願して、氏子の皆様のご協力により、この度完成し、九月十二日落成神事を挙行。

玉垣設置場所は、戦捷記念碑の前で、令和の新時代に相応しく、すっきりとし、神社の威厳を感じさせる姿に変貌しました。掲示板も位置を変え、装いを変えました。玉垣は神社境内に、過去一回にわたり設置されてきました。最初は三十年前、平成のご大典の時に、本殿周りに瑞垣を設置。一回目は平成十八年、秋篠宮悠仁親王殿下ご誕生記念に、正面から東側に設置。

日本の神話は、国

造りの神・イザナギ・イザナミ夫婦の子が天照大御神で、その玄孫が神武天皇となっている。神と天皇家は血で繋がっております。この事から天皇家で慶事があれば、神社も共に寿ぐと言つ事で、連綿と営まれてきたものと思えます。神社は祈るところであり、願うところであり、感謝をするところであり、



あり、癒しを受けるところとされ、昔より人の集うところであった。近年、これらの事がやや希薄に感じられます。玉垣建立等を機に、人々の安らげる鎮守の森復活が成されれば望外の喜びであります。

コロナ禍での秋祭り斎行

世界中が総自粛の中でしたが、神職、総代、役者衆と協議を重ね、縮小しての斎行を決めました。

日程も昔の縁日の最終日(十九日) だけとして、午前中は、秋葉神社の神事。午後から白鳥神社で大神楽、神事を挙行。神事では雅楽による浦安の舞も奉納した。雅楽、浦安とも稽古は最低日とした。神楽の稽古は特に密になるので一日のみとして、経験豊かな社会人のみにて行う事とした。普通なら

小学一年生がやる神舞子をお兄さん、おじさんが昔を思い起こして見事に演じ切りました。何の宣伝もしませんでした。聞き付けられた方は、ご祝儀、御神酒を例年通りお供え下さり、誠に有難うございました。お陰様で五百二十有余年に渡る太神楽が途切れる事なく繋がりました。皆さんの心意気で総て奉納出来ましたことにも多大なる感謝であります。



夏の初宮参り

七月二十六日、午前十時、夏の初宮参り神事を行う。この時、雨が猛烈に降る。一時は祝詞が聞こえ難い程の豪雨。神様が雨に乗り、降臨した感じでした。

そんな雨にもめげず、四組がお詣りされた。終わり頃から雨も止み、帰る頃は傘不要で陽もさした。白鳥神社は時折、神事の時に突然風が吹いたり、強い雨が降ったり不思議な現象が見られる。今日もその内の様でした。お母さん方にお願いをしました。

今日の赤ちゃんが成長されたら、貴方の初宮の時は世界中がコロナで大騒動だったのよ、それを乗り越えて成長したのよ！これからも元気で頑張りましょうと話してやって下さいと願い、神事を締めました。

- 松山 大一郎・舞 次男・桃也 君(中西)
- 鎌田 実・英恵 長男・泰央 君(野添)
- 大前 浩亮・比呂美 長男・初紀 君(高鷲)
- 本戸 豊・七恵 長女・愛梨 ちゃん(越佐)

「初宮の泣き声高き、夏見かな」

白鳥踊り・拝殿踊り 発祥祭

白鳥神社境内入口左に「白鳥踊り発祥の地」と言う石碑が建てられている。しかし今迄、一度も当神社で踊り発祥祭は行われなかった。今迄は何れも町内の目抜き通りで行われてきた。不思議でもあった。聞くところによると白鳥踊りは商工観光関係の目玉であり、より賑やかにとの願いから、商店街で行われたらしい。

それが今回は、コロナ禍でシーズンの踊りは全て中止になった。しかし、大幅に縮小した発祥祭だけはやり



(2) たいとなり、白鳥神社が浮かび上がった。会場を決める会議では、神社側としては、ようやく本拠地に来たか、という感じで拒否する事はなかった。次年度からも、ここでやるべきではないかという意見具申は申し上げた。検討をすると言う返事だった。

そして、七月十八日、白鳥神社拜殿でその神事は厳粛に行われた。続いて境内では、宝曆義民太鼓の演技が五分間行われ、続いて白鳥踊りが五分、拜殿踊りが五分ずつ踊られた。正直、もう少し踊っても良いのではないかと感じるを、皆さん持たれたと思う。折角の神前での踊りは、神の奉納の意味も兼ねているやに思う。神もモノ足らず、淋しかったのではないかと？

八月十六日の神社境内での縁日踊りは、中止することなく、八時から九時迄、楽しく踊りました。人出も何時もとほぼ同じ位、来られた。



秋の初宮参りと七・五・三

十一月二日 小春日和の穏やかな日に、初宮と七五三で、二十九名の参拝がありました。

人生における初の儀式・初宮参りは、産着に包まれた新生児六名が無事の出産を神に報告、この先の健やかな成長を祈願。新生児は社会の宝！

寺田俊哉・由紀 長女 彩恋 ちゃん(白鳥)
小滝京介・麻生 長男 いつき 君(為真)

日置和麻・希 長男 風汰 君(白鳥)
岡田佑基・玲那 次男 峻 君(中津屋)
澤崎善博・芳佳 長女 季歩 ちゃん(中西)
水向一平・くるみ 長男 一心 君(天和町)

続いて七五三の神事。七五三には神様からそれぞれプレゼントがある。三歳には言葉を、五歳には知恵を七歳には歯(永久歯) 戴き、成長をしてゆくと。子供たちの和服姿に、日本人の矜持を見た！おめでとう！

◆七五三参拝者

中村美月さん(7)〜大島、中村光希君(5)〜大島、曾我陽吹君(5)〜白鳥、前畑圭汰君(5)〜那留、早川実那さん(7)〜白鳥、清水琳太君(3)〜白鳥、下島颯翔君(5)〜中津屋、森美咲さん(7)〜高鷲、佐藤寧さん(3)〜向小駄良山下真子さん(3)〜高鷲、金子楓さん(3)〜白鳥、和田侑也君(3)〜大和、仲畑達哉君(5)〜中津屋、仲畑紗也香(3)〜中津屋、井瀬亜衣菜(3)〜恩地、鎌田晏寿さん(7)〜野添、尾藤大翔君(5)〜白鳥、川端杏さん(3)〜為真、上村咲結さん(7)〜高鷲、上村沙季さん(3)〜高鷲、二島愛奈さん(7)〜千田野、二島怜奈さん(3)〜千田野與語寛太朗君(5)〜向小駄良



御寄進・ご奉仕

- 一、境内石灯笼太陽光電気設置……………足立好教 様
- 一、パワースポット看板寄付設置……………足立好教 様
- 一、掲示板・標識板修繕、各種塗装……………足立好教 様
- 一、掲示板サッシ枠寄贈……………内ヶ島朗 様

- 一、ご撰米・式斗寄贈……………金子 明 様
 - 一、神楽用草鞋・草履百足寄贈……………二輪米一 様
 - 一、境内伐根作業奉仕……………川崎 弘 様
 - 一、伐根作業重機無償提供……………西村石材店 様
 - 一、しめ縄作り奉仕作業……………白鳥自治会 様
 - 一、戦捷祈念碑前木製玉垣手摺寄付……………匿名 様
 - 一、玉垣完成集合写真全員分寄付……………一仏美智子 様
 - 一、櫛・御神木修復……………曾我 誠 様、北条弘三 様
 - 一、鷲見病院ロビー神社写真展示……………曾我 誠 様
 - 一、境内落葉清掃奉仕作業……………正者憲次 様
- 誠に有難うございました。



令和二年十二月からの主な行事予定

- 12/27 新年初詣の準備、最終準備
- 12/31 午後十時より徹夜初詣接待態勢に入る。
- 1/1 午前九時より拜殿にて歳旦祭
- 1/1〜3 初詣参拝者接待(総代当番交代にて)
- 3/7 祈年祭・稻荷神社初午祭。年度末総代会

新春初詣・伊勢参り 中止

毎年一月初旬に行われてきました、神社庁郡上支部主催の初詣・伊勢参りが「コロナ禍により中止となりました。一泊日(約)百名での御垣内参拝をして、翌日は京都近隣の有名神社にも参拝してきましたが中止となり残念です。(文責・瀬木)